

文化通心



こんぴら信仰の象徴

太助燈籠

江戸・天保年間、丸亀港の拡張工事が始まり、
こんぴら講中の浄財で燈籠が建立され、
筆頭寄進者・塩原太助の名を冠して「太助燈籠」と
親しまれました。

海辺に舞い降りた鳥のように美しい青銅の燈籠は、
信仰の心で漆黒の海をてらした「命の火」。

建物の上で燃やした火、万葉集に歌われた
滯標（みおつくし）、神社の常夜灯など、古来、
灯台の役目を果たしたものは多く、
丸亀港の太助燈籠も海の安全を約束して
頼もしがられたことでしょう。

写真撮影／藤井照芳

24

1999年12月1日(季刊)

●発行所：
財団法人中條文化振興財団
〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号
TEL.(087) 826-3355 FAX.(087) 826-2212

「あ・うんの数寄講座」

日本文化のエッセンスを探る連続セミナー

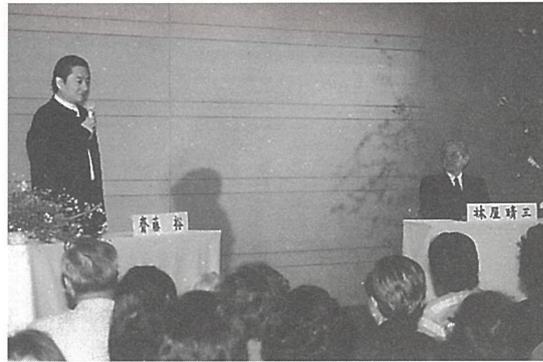
第二回は林屋晴三先生を迎えて

平成十一年四月十七日午後二時

【茶の湯と間合いの美】

「間が良い」「間が抜けた」「間延びした」こんな言葉を私たちは日常何気なく使いますね。例えば、芝居を観る。「あの役者のセリフの間、みごとだねえ」などと批評する。それで大いに解り合える。それでは「間」とはいったい何？どうも我々日本人には脈々と生きている感覚・感性の世界のようだ。今回は「茶の湯」という世界を切り口に「間」についてのお話を伺った。

聞き手は建築家の齋藤裕氏。



林屋先生のしゃべりの「間」には、大きな説得力が

林屋 晴三
(はやしや・せいぞう)

美術評論家・
東京国立博物館名誉館員

齋藤 林屋先生は、東洋陶磁器の研究における第一人者であり、また、国宝や重文、あるいはそれと互角の優品を、生きた道具として茶会で使ってこられた。そんなしつらいのなかでもとの出会い、人との出会いを重ねてこられた方です。今日は茶の湯における「間合いの美」ということについてお伺いしたいと思っております。

林屋 お茶というのはパフォーマンスです。普段茶室には何も無いわけです。ここへ春なら春の道具の取り合わせ、秋なら秋の、と春夏秋冬それぞれの取り合わせをやり、また、誰を迎えるかによっても、その人との関係の中で考えて、取り

合わせが違ってきます。だから、その時々
の思いの世界で道具立てというものができ
るわけです。茶室だけではお茶にならない
わけで、道具立てをして初めて茶室にな
る。

天正十年頃の利休作といわれる待庵と
いう茶室があります。この待庵という茶室
は、きわめて緊張感のある「間」が素晴
らしい空間として構成されている。私は少
年の頃から伺ってこの待庵とは親しんで
いたのですが、その頃は「なんや」と思いま
した。でも、ものごころついてからは、こ
れほどの緊張感のある空間を人間につくれ

るものか、という思いがつのり、いまだに
行くたびに感動します。これは、たった二
畳の茶室です。部屋にいるときは二畳な
のに、そこからでて、頭の中で思い返すと
四畳半くらいのところにいたような感じを
持つんです。非常に緊張感があつて凝縮
された空間だから、実体よりも離れたとき
に残像の膨らんでくる茶室です。

茶室に入つて床の間を拝見するとき、正
面に座つて少し仰ぎ見ますね。この茶室
はその「間」がとてもいいんです。床の間
に花釘があつて、花生が掛かるわけだ
が、ここに利休の竹花生の最高傑作だ
と思う「尺八」を掛けたときには、その間
合いたるや、さぞ素晴らしいだろうと想像
するんです。待庵の床に掛けたとたん
に、空間も花生もみるみる生命感がみなぎ
ってくる。互いに引き合っているようなテン
ションであり調和。それをひとこと言う
と間合いの美ということになりますね。

齋藤 古い道具というのは新しい茶室の
なかにも合うし、古い茶室のなかにも合
う。では今度、新しい道具ができたとき
に、いったい私たち現代人はどんな茶室を
つくつたらよいのだろうか。それぞれの道
具がびつたりと調和する空間が必ずあるは
ず。つまり現代の道具には、やはり現代
の茶室をつくる必要があると思つてい
ますが。

林屋 利休の道具は全部桃山のときの「今」
なんです。現代は素晴らしい建築家がた
くさんいるけれども、現代のお茶の世界
は、今というものを直視していないんです

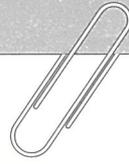
ね。昔のもののコピーを使つていけばさま
になるものだから皆そうやつている。しか
し、やはり我々の「今」がなければいけ
ないのではないかとというのは、私の年来の主
張です。つまり新しい茶室がなければ、新
しい道具というの生まれません。生ま
れるかもしれないけれど、それを生かせる
間合いをもつた空間に置かなければ、やは
り生きてこない。そこにびつたりの道具が
置き合わされて初めてそれぞれの道具の持
つ魅力、本領が発揮されるんです。

要するに「間」というものは実感する
よりほかないんです。利休の待庵、利休
好みの道具、遠州好みの道具、有楽の如
庵、これらは皆「間」がはずれてないん
です。そして、それぞれに独自の間合いがあ
る。

結局、それぞれの「間」を自分で見
つけて生活のなかでその「間」というものを
育てて、美しい一つの世界をつくってい
かないと、話を聞いて聞き流しでは意味が
ないんです。ご自身のお宅で、床の間に
花を置く、道具を置き合わせてしつら
いをする。そのとき、いかなる間合いがい
ちばん本質的に美しいかということを知覚
しない限り、お茶なんかやめたほうがよい
私は思います。ひとつの茶碗、ひとつの軸
物を鑑賞するという単純な世界ではなく
て、総合的な調和のとれた美の配置の感
覚がなければ、茶の湯という時空間はそ
の真価を発揮しない。そこにこそ、茶の
湯の素晴らしさがあるわけです。どうぞ皆
様の「間」をひとつ探して下さい。

(第二回「あ・うんの数寄講座」より一部抜粋)

中條文化振興財団の メッセージ NEWS 8



田野々雨乞い踊り保存会会長

藤田 誠文

この度中條文化振興財団より平成十一年度財団賞を受賞し、誠にありがたくまた責任の重さを痛切に感じる次第です。私達の雨乞い踊りは慶長の昔薩摩法師によって伝えられたと言われていますが、昭和九年の干ばつ時を最後に途絶えておりました。しかし雨乞い踊りを復活しようという地域の人々の熱意により、昭和四十六年二月より一年半かかって復活し、地域全住民による保存会を結成し、伝承に努めております。当時地域にはまだ古老が多く、昔歌い踊った記憶を頼りながらの復活は大変でした。その後数年のうちに古老達も相次いで亡くなった事を思えば、いい時期に復活したものだと思いが致します。またその後の保存活動も順風満帆とは言えませんでしたが、単調で見栄えがしない踊りに対して保存意欲が低調になった事は否めない事実でした。その後県文化財専門委員で民俗学の武田明先生によって文化財としての価値を見い出され、昭

平成十一年度 財団賞授賞式開催

平成十一年十月十五日(金) 当財団茶室「晴松亭」に於て、第七回財団賞授賞式が開催された。今回財団賞を受賞された各氏にメッセージを頂きましたのでご紹介致します。

また、同時に行われた第六回助成金交付団体への認定書授与式では、以下の三団体に認定書が当財団理事長より各々手渡されました。

- 劇団タイムステップ (二回)
- 香川県話し言葉研究会
- ちえちいりあ

和五十三年に県無形民俗文化財に指定された事が低調になりつつあった保存活動に大きな刺激を与えました。このように紆余曲折を繰り返しながら現在に到っている保存活動ですが、今回の受賞を契機に一層の発展を目指したいと思致します。今後ともご指導を宜しくお願い致します。



石人形作家 (善通寺市)

北山 守文

中條文化振興財団から財団賞をいただき、大変嬉しく、また、有り難く、非常に恐縮している次第であります。

私同様、河原などで拾われ、色を塗られていろいろな家々で飾られている「多くの石人形達」も今回の受賞を、きつと、わがこととして喜んでくれてることだろうと、ひとり表彰状を眺めながら思いに耽っている今日この頃です。

石人形を創りはじめて、もう30年にもなりました。「干支の石人形」や牟礼の石

の民俗資料館に飾られている「ふるさとの郷土芸能を表現した石人形」、熊本の伝統芸能フェスティバルに配られたたぐさんの「親切的な青鬼くん石人形」、阪神・淡路大震災のとき、神戸市民へ贈られた「ガンバレ神戸の石人形」、鳥取県の香取村に贈られた「こんぴら舟々の踊り三味線を奏でている石人形」、遠くアメリカのロサンゼルスの日米会館に寄贈された「節句の石人形」など散り散りに私の手から去っていった石人形たちにも、今回の受賞の喜びを分かち合いたいと強く願っております。本当にありがとうございます。

如庵は、もと京都建仁寺塔頭正伝院に建てられた織田有楽斎の隠居所に設けられた茶室であった。明治二十六年書院と共に有楽斎として保存され、二度の移築の後、昭和四十五年愛知県犬山城下の有楽苑に移築された国宝茶室である。

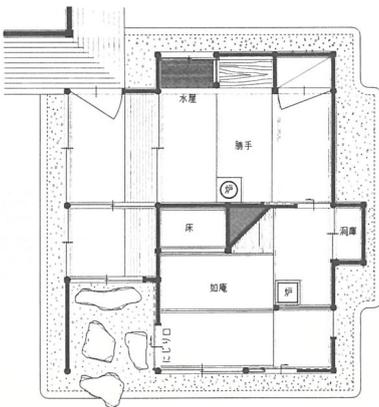
外観は躰口の位置、袖壁の円窓や一見入母屋造り風な屋根などに特色が見られ、利休や織部、三斎らの草庵風とはいささか趣を異にした姿を示している。

席は四畳半の中に床を取り入れた形で、二畳半台目の広さであるが、床脇に三角の地板(鱗板)を入れてある為に「筋違の囲」とか、「袴腰の数寄屋」とも呼ばれている。また、連子窓の一部に竹を詰打にした有楽独特の窓や、風炉先に花頭を切り抜いた板壁、床は台目床で床柱は八角のナグリで、黒塗りの床框と杉の落掛で組み合わされている。

床脇の斜めの壁面下部の腰張に古曆が用いられている為、別名「曆の席」とも言われている。

国宝茶室 二、

如庵



如庵 平面図

秋の日にギターリサイタルで演奏をお願い致しました
西垣先生より本紙に寄稿を頂きましたのでご紹介いたします。

茶礼(さらい)、茶論(さろん)、サロン

西垣正信

「日本のサロンをつくりたいですね」、私の提案に中條財団の深いご理解をいただき、9月23日に財団の立礼席で、実際に楽しいコンサートを開いていただきました。

に支えられています。商業的な仕組みに支えられている現代のアメリカや日本の文化とは、享受した果実はかなり違いますね。

また後日、財団の津田の松原での「月見の会」にもとびり参加させていただきました。「讃岐の文化」に深い感銘を受けました。私も即興のコンサートを行うことになり、家の中に蠟燭をもつて入り、しかも「月見」なのに音響のために雨戸を閉めて即席の演奏会場。「月見の雨戸」は粋でした。

私が禅にひかれて、妙心寺塔頭大珠院の故盛永宗興老師に私淑したのは十七歳の時でした。毎朝の「茶礼」は日課の伝達の間であるだけでなく、子供の私にはわくわくするような「知的な場」でした。日曜早朝には「提唱」という、外部の方もまじえた老師の講座がありました。私はできが悪く、講座の内容についていくのに精一杯。しかし提唱後、茶礼の末席に居させていただくことで、短期間で「言葉ではない知識」を体験しました。その狭い席には、御葉書でのみ接していた京都の文化人、有名な科学者が、おられることも多く、深い話が冗談をまじえて交わされていました。老師の気まぐれで、若い私に「おい、西垣はどう思う」と話を振っていたいたときのため、気の利いた返事と作戦を茶室の隅で案じていました。たいがいは「本から得た知識そのまま」の返事しかできず、「惚けてるな」とお叱りを受けるのが常でした。

私が音楽でフランス政府政府給費留学

生試験に失敗した折り、老師の部屋に呼ばれました。お叱りを覚悟して老師の部屋に参上。一服のお茶と、戒めを書いていただいた一枚の色紙(残念賞状と呼ばれていた)、それに「これで、フランスに行つて来い」と留学費用をいただきました。いまでも、お茶をいただくときはいつもその一服を思い出します。

渡仏して、多くのサロンに呼ばれました。軽いシャンペンで始まり、詩人の新作の朗読、壁には若い絵描きの作品がかけられ、私の演奏なども交えて後に歓談がはじまります。シャガールやピカソがおられたこともありました。しかし、ここでは社会的な知名度や年齢などは顧みられず、興味深い話に、皆が耳を傾け議論します。そういった議論にきたえられて、あ

二月月釜「早春」

立春を迎へても寒さはまだきびしく春が待たれます。

今月は武者小路千家官休庵家元教授の赤羽根一男先生がご来高下さり濃茶席・古市敏子先生が薄茶席・点心席を担当して下さいませ。春の香りや味をお楽しみ下さいませ。



行事予定(十二月、二月)

一月月釜「年賀」

今世紀最後の年を迎へ、新春を寿ぎ釜を縣け、年賀の茶会を行います。

今月は当財団茶の湯委員の方々が担当して下さいませが、濃茶席、薄茶席と共におめでたの点心や福引等も用意してお楽しみいただきたいと、準備いたしております。

とき 平成十二年一月八日(土)

席主 濃茶席 大内 泰雄(官休庵)

薄茶席 松野恵美子(裏千家流)

膳 席 山地美津江(表千家流)

全七席 各十七名様

席料 六千五百円

茶券ご案内

- 第一席 午前九時～十一時三〇分
- 第二席 九時五〇分～十二時二〇分
- 第三席 十時四〇分～十三時一〇分
- 第四席 十一時三〇分～十四時
- 第五席 十二時二〇分～十四時五〇分
- 第六席 十三時一〇分～十五時四〇分
- 第七席 十四時～一六時三〇分

Oh! 茶Gai!

その②



今回の素敵な女性は、高松市内の電機メーカーにお勤めの荒木智子さんです。

お茶を習い始めたきっかけは「同級生がお花を習っていたから」ちょっと違いますか？よく聞いてみると、それまでにジャズダンスや着付け、書道から水泳までいろんな教室に通っていたとか。「他の習い事は数カ月でやめたんだけど、お茶の落ち着いた雰囲気が好きで、気持ち落ち着くんです。色んなコトを習ったのは何か熱中できることを探していたんです。お茶席は自分の居場所！って感じがして、続いているんです。」もう一つの理由に、おばあちゃんの影響がありそう。小さい頃から耳元で「お茶はいいよ」「役に立つよ」と囁かれていたそうです。

「最近はお茶が面白くて」お作法とスポーツ、それらを両立してこれからも、もっと素敵な女性になっていくんでしょうね。

喫茶居 (二)

「静風茶会」

菊薫季節ともなれば、長尾寺の書院で静御前をしのぶ「静風茶会」が催されます。義経と吉野山で別れた静は母の故郷で出家(宥心尼)したとの言い伝えがあり、長尾寺境内にある剃髮塚(写真)には恋を願う乙女のお参りも多いとか。

点前座正面の床に静御前の絵姿が飾られ、お灯明や献茶に静饅頭も供えて、薄幸の舞姫をなぐさめた趣向が整います。客が定まって挨拶が済むとお点前が始まり、半東が菓子を選んで参ります。菓子は毎回、茶会を始めた頃の住職・村岡俊嶽師の「静」字を焼印したものです。亭主は



決まり切った菓子の器に苦慮するらしいのですが、参加者には年に一度の懐かしい味のする静饅頭です。あわせての菊花展を楽しみながら清香に満ちたひととき、美しき人の面影をしのんだ席でお薄を一期いただきました。(三木町の願勝寺には墓も残っています)

(右頁より続く)

たらしい哲学や芸術の新たな方向が世界に指し示されてきました。もつとも、最近では、各地でカフェを討論の場とした「哲学カフェ」が盛んです。サロンでは「精神的な無礼講」なのです。私はこのような雰囲気すぐに馴染みました、禅寺と同じ空気なのですから。

「サロンという無礼講にもマナーがあります」と私がフランスの先輩から注意されました。それは次のようなことです。会話や行動に「ウイット、ユーモア」(つまり粋)があること。知識を披瀝するための会話は下品。議論しても甲斐のない話題は避ける。役に立つなら「アンチテーゼ」を捻出してもよい。またも、禅寺のマナーと同じです。

数年前、ドイツの著名なフルート奏者コフラー氏とともに、武者小路千家官休庵での「茶論(サロンコンサート)」と銘打ったコンサートで演奏させていただきました。なつかしいサロンと日本の香りが混然として、充実した体験でした。演奏家の控え室にしていたいただいた家元の執務室に、一枚の色紙を見ました。それは、盛永老師から頂戴したものと同一「残念賞をもらわれたのですか？」と家元にかがいたかったのですが、「話しても甲斐のない話題は避ける」というサロンのマナーを守りました。

中條財団が、今後も有形無形の讃岐の文化に光を当て続けられますことを念じています。

とき 平成十二年二月二十日(日)

席主 濃茶席 武者小路千家官休庵

赤羽根一男先生

薄茶席 武者小路千家官休庵

古市敏子先生

点心席

定員 全八席 各十五名様

席料 八千円

茶券ご案内

- 第一席 A・B 午前九時～
- 第二席 A・B 午前十時四〇分
- 第三席 A・B 午前十一時三〇分
- 第四席 A・B 午後一時十分

◆ 当財団の月釜はお茶の経験や流派にこだわりなく、お気軽にご参加頂ければ幸いです。

◆ 茶席券は総て予約(時間指定)となります。一月の月釜は十二月席券を送らせていただきますが、二月の月釜は予約受付して、席券は新春にお送りいたします。

三友居懐石料理二期のご案内

一期二年間で十二ヶ月の講習会が本年十二月を以って、好評のうちに終了いたします。受講者の皆様のご希望も多く三友居さんのご好意で二期を継続することになりました。具体的な内容等決定次第ご案内いたします。

すべて予約制(時間指定)となります
お申し込み、お問合わせは、
当財団事務局まで

TEL (0897) 8266・33315

茶華道ガイド

官休庵 佐々木茂社中 ☎(087)821-8777

1/16 初釜茶会 中條文化振興財団 9:00~ ●

淡交会高松支部 ☎(087)831-0687

12/5 屋島青年部主催 年末チャリティ茶会 ●
天神会館 9:00~

2/5 淡交会高松支部 月釜 天神会館 9:00~ ●

表千家同門会香川県支部 ☎(087)874-0458

2/13 表千家流 四季茶会 本覚寺別院 9:00~ ●

武者小路千家 香川官休庵 ☎(087)851-2258

12/5 12月月釜 席主:あけぼの会 本覚寺

1/9 1月月釜 席主:松原律子 本覚寺

2/6 2月月釜 席主:藤本淳子 本覚寺

池坊善通寺支部 ☎(0877)22-7203

12/4 華道家元池坊香川連合花展 善通寺市 9:00~●

12/5 華道家元池坊香川連合花展 善通寺市 9:00~●

1/5 京都家元池坊会館初生舎 9:00~

京都池坊会館 9:00~

1/9 池坊讃岐支部初生舎 9:00~

丸亀市総合会館 9:00~

一生流家元和田宗甫 ☎(087)821-4347

1/11~16 平成12年度香川いけばな連盟展 ●

一生流・嵯峨御流・草月流・池坊

三越新館5階 10:00~

イベントガイド

高松市教育委員会 ☎(087)839-2636

12/7~1/11 「屋島城と長崎鼻古墳発掘の成果」展示

瓦町地下ギャラリー

12/9 ふるさと探訪 屋島南山麓 9:00~ ■

1/23 〃 檀紙町 9:00~ ■

2/11 知って貰おう高松講座 平家物語歴史館 ●

2/27 ふるさと探訪 三木町 9:00~ ■

高松市歴史資料館 ☎(087)861-4520

~12/5 特別展「野球王国・高松が生んだ宿命のライ

バル~水原茂と三原脩の野球人生」9:00~

1/22~3/5 新収蔵品展 9:00~ ●

菊池寛記念館 ☎(087)861-4502

文芸講座

12/4 「菊池寛と成瀬正一」 ■

1/8 「宮武外骨これ本名なり」 ■

2/5 「拓本から文学を学ぶ」 ■

第1集会室 13:30~

高松市美術館 ☎(087)823-1711

1/28~2/6 高松市美術館コレクション展 9:00~ ●

2/25~3/26 パリのカフェと芸術家たち展(仮称) 9:00~ ●

高松市立市民会館 ☎(087)839-2888

12/18 第19回香川大学ギターアンサンブル ●

定期演奏会 18:00~

12/23 サンタクロース音楽祭 18:00~■

12/25 マルヨシセンターこどもミュージカル劇場 ■

「青い鳥」 14:00~・17:30~

1/21 香川短大「こども劇場」 10:00~■

2/4 第28回高松市吹奏楽団定期演奏会 ★

2/5 キロロ コンサート 18:00~●

2/19 NHKチャリティーコンサート

おかあさんといっしょファミリーコンサート

13:00~・15:30~

セントラルホールウイング ☎(087)833-0005

12/11 禅をきく会 13:30~■

1/26 すこやか健康教室 13:00~■

香川県民ホール ☎(087)823-3131

※グランドホール

12/4 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 14:00~●

12/8 U A コンサート 18:30~●

12/12 島田バレエ団公演 ●

「ロミオとジュリエット」全幕 13:30~

12/18 香川大学マンドリンクラブ ●

第31回定期演奏会 17:30~

12/26 劇団ブチミュージカル S F ミュージ ●

カル「PICO」 18:00~

1/10 速水けんたろう ●

ファミリーミュージカル 13:00~・16:30~

the brilliant green コンサート18:00~●

1/23 サンスターファミリーコンサート ★

1/30 「ミッフィーとうたおう」13:00~・16:00~

2/3 山崎まさよしコンサート 18:30~●

2/16 鳥羽一郎コンサート 14:30~・18:30~●

※アクトホール

12/1 高松短期大学音楽科 ■

第24回定期演奏会 18:30~

12/2 ウィーン・ピアノ・トリオ演奏会 18:30~●

12/11 高松第一高等学校音楽科 ■

第19回卒業演奏会 11:00~

12/16 サニーディ・サービスコンサート 18:30~●

12/17 風間杜夫ひとり芝居「旅の空」19:00~●

12/19 クリスタル・ハーモニー・ジャズオーケストラ ●

5周年記念コンサート 14:00~

12/22 ヴァリエ 第8回コンサート 19:00~●

12/23 香川大学合唱団 ●

第43回定期演奏会 14:30~●

12/26 カワイ講師コンサート 14:00~●

1/9 2000年の扉を開くコンサート 17:00~●

1/16 新春玉藻能 13:30~●

1/23 吉川洋一郎コンサート 14:00~●

1/30 第四回さぬき名流会 12:30~●

2/6 ヤマハPTCコンサート ●

『推薦演奏会』 12:00~

2/29 ジブシー音楽とハンガリー舞踊 18:30~●

玉藻公園管理事務所 ☎(087)851-1521

2/13 菊の講習会(4回目) 披雲閣

ミューズホール ☎(087)833-0013

12/5 第10回高松短期大学音楽科OB演奏会 14:00~●

12/9 楊興新 胡弓コンサート 18:30~●

12/12 第15回香川クラリネットグループ ●

定期演奏会 14:00~

12/18・19 スタジオトゥールー第16回公演 ●

ザ・ダンサー8 ●

18日18:30~・19日15:00~

12/19 キッズワールド VOL.5 11:00~●

四国ガス・ピボット ☎(087)821-0248

手作りみそ講習会 12/1 ●

10:00~・12:00~・14:00~

花俱樂部 12/7、1/11、2/1、3/7 10:00~●

パン教室 12/3、1/7、2/4、3/3 10:00~●

ガスオープン専科 12/17・18、1/21・22、●

2/18・19、3/17・18 10:00~

イタリア料理教室 ●

12/22、1/26、2/23、3/29 10:00~

ケーキ教室 12/2、1/6、2/3、3/2 10:00~●

ハーブ教室 ●

12/20、1/17、2/21、3/27 10:00~

粘土クラフト ●

12/6・21、1/18・25、2/15・22、3/21・28 10:00~

園芸教室 ●

12/17・1/14・2/18・3/10 13:00~

子供クッキング(クリスマス料理・ケーキ) ●

12/24 10:00~

ヨンデンフラザ高松 ☎(0120)373-168

~12/5 文学碑拓本展 ギャラリー ■

12/7~12 第6回朝日四国写真展 ギャラリー ■

12/14~19 第11回チャーチル会 絵画展 ギャラリー ■

12/9・10 ふれあい新鮮市&旬の野菜で超簡単

クッキング コミュニティ広場 10:30~

12/11 でんきDEチャレンジクッキング ■

コミュニティ広場 14:00~

12/12 女性建築士による住宅相談 ■

コミュニティ広場 10:00~

12/18 ふれあいキッチンコンサート ■

コミュニティ広場 15:00~

12/22・24 ふれあい新鮮市&旬の野菜で超簡単

クッキング コミュニティ広場 10:30~

「文化通信」第25号は 3月1日発行です。

次の期間(平成12年3月1日から5月末日)の情報を 2月10日までにお知らせ下さい。

TEL (087)826-3355 FAX (087)826-2212

イベントガイド

宮武画廊 ☎(087)851-2354

- ~12/5 結願寺への山頭火 ■
- 12/6~12 第36回高松フォトクラブ写真展「四季彩」■
- 12/18・19 第7回香川現代俳画協会俳画展 ■
- 12/20~29 第16回川田忠義個展 ■
「愛しき人たちへのオマージュ」
- 1/3~9 2000視友会グループ展 ■
- 1/10~16 第9回香川県立聾学校 ■
幼児・児童・生徒作品展
- 1/17~23 香川大学美術部卒展 ■
- 1/24~30 川田 玄 作品集出版記念原画展 ■

丸亀市中央公民館 ☎(0877)24-1392

- 蓬萊大学一般教養講座
- 12/2 「悪質商法について」 ■
- 1/6 「アトラクション」 ■
- 2/3 「日本語雑感」 ■
- 丸亀総合会館 13:30~

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

- 12/1~3 ミュージカル鑑賞教室 ●
「オズの魔法使いと夢の国」
9:30~・13:30~
- 12/4 ミュージカル鑑賞教室 ●
「アンデルセン物語」 9:30~
- 12/5 第3回ふれあいのつどい 12:00~ ■
- 12/11 山本譲二・原田悠里・小金沢昇司 ●
ジョイントコンサート 14:00~・18:30~
- 12/17 コロンビア歌謡フェスティバル in 丸亀 18:30~ ●
- 1/30 オユンナコンサート 18:30~ ●
- 2/5 桂文珍独演会 14:00~ ●
- 2/20 讃岐太鼓のつどい 13:00~★

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

- 2/5~3/5 『近代の丸亀』 ■
写真・資料によって紹介 9:30~

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

- ~1/10 みずのき寮からの発信 10:00~ ●
- 1/15~ 猪熊弦一郎展 ●
GUEN in Paris 1938-1940 10:00~

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

- 12/5 坂出日舞会 日舞公演 ●
- 12/19 坂出演劇フェスティバル ■
- 12/25 冬休み子供大会 ■
- 12/26 アマチュアバンドコンサート ●
- 2/5~11 花卉展示品評会 ■

善通寺市民会館 ☎(0877)62-7001

- 12/10 ゴジラ2000上映会
- 1/23 全国少壮吟詠家審査コンクール四国大会
- 2/5・6 善通寺公民館まつり

観音寺市民会館 ☎(0875)23-3939

- ※大ホール
- 12/12 藤間流秀扇会 10:30~ ■
- 12/19 ゴジラ2000上映会 ●
- 12/20 浜田省吾コンサート 18:30~ ●
- 12/27 管楽アンサンブル“音夢里”演奏会 ●
- ※中ホール
- 12/1 郷土文化大学 ■
- 12/5 PTCコンサート ■
- 12/23 WEST POCK CARNIVAL '99 LAST GIG ●

土庄町教育委員会 ☎(0879)62-0238

- 12/19 土庄町音楽フェスティバル ■
町立中央公民館 13:00~

池田町教育委員会 ☎(0879)75-0431

- 12/4・5 第10回二生公民館文化発表会・作品展示 ■
二生公民館 4日13:00~・5日9:00~ ■

三木町教育委員会 ☎(087)898-1111

- 平成11年度文化財公開講座
- 1/23 考古学「小谷窯跡と塚谷古墳」■
- 2/27 民俗学「お茶の習俗」 ■
- 3/19 文学「沙弥島にかかわる万葉に ■
ついて」文化交流プラザ 13:30~

多度津町市民会館 ☎(0877)33-3330

- 12/5 第19回自衛隊定期演奏会 14:00~ ■
- 12/16 多度津中学校全校合唱コンクール 13:00~ ■
- 12/20 多度津町青少年健全育成映画会 ■
- 1/29 多度津町こじかフェスティバル 9:30~ ■

仲南町教育委員会 ☎(0877)77-2882

- 2/12・13 森のコンサート(フルオーケストラ) ●
町民文化ホール ●
12日19:00~・13日14:00~

仁尾町文化協会 ☎(0875)82-2143

- 1/2 囲碁大会 仁尾町公民館 9:00~▲

香川町教育委員会 ☎(087)879-0231

- 12/11 香川町文化講演会 ★
「お母さんは宇宙人」講師：橋幸夫
香川町総合体育館 15:00~

町立塩江美術館 ☎(087)893-1800

- 12/14~28 貴志勉作陶展& ■
土に魅せられた人達展 9:00~
- 12/19 クリスマスコンサート IN 塩江 14:00~ ●
- 1/18~23 日本光画会全国公募写真展 9:00~ ■
- 1/25~2/13 裸婦絵画作品'99展 9:00~ ●

大内人形劇場 とらまる座 ☎(0879)25-0400

- 12/11・12 劇団小さいお城 ●
「あっぱ・うっぱ・おっぱカッパの子どもたち」
10:30~・13:30~
- 1/22・23 人形劇団とんこ「すぎ」10:30~・13:30~ ●
- 2/19・20 春一番人形劇祭 13:30~ ●
- 2/25~27 糸あやつり人形劇団のむし ●
「じかんよとまれ」
25日10:30~、26日13:30~、
27日10:30~・13:30~

総合会館アイレックス ☎(0877)86-6800

- ※小ホール
- 12/12 子どものためのおはなしコンサート 13:30~ ■
- ※大ホール
- 12/12 歌謡曲(キングヒットパレード) 10:00~ ●
- 12/26 “99童謡フェスティバル in あやうた 13:30~ ■
- 12/27 映画上映会「ゴジラ2000」 ●
10:00~・12:30~・14:30~
- 1/23 第23回全日本アンサンブルコンテスト ■
香川県大会 10:00~
- 2/3 劇団四季公演「王様の秘密」18:30~ ●
- 2/6 北島三郎ショー 14:00~・18:30~ ●
- 2/19 スポーツ講演会(予定) 19:00~ ■
- 2/27 第4回あやうた音楽祭 12:45~ ■

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

- 12/3~13 第9回チャリティ展 9:00~ ■
- 12/16~20 備前焼 生徒作品展 9:00~ ■
- 1/1~11 新春 江戸 健康展 9:00~ ■
- 1/14~18 安部耕三 陶展 9:00~ ■
- 1/21~2/1 サタケ タクヤ写真展 9:00~ ■
- 2/4~8 綾西洋画グループ展 9:00~ ■
- 2/11~15 三原 剛写真展 9:00~ ■
- 2/18~26 琴平きり絵支那洋画展 9:00~ ■

志度音楽ホール ☎(087)894-1000

- 12/11 いさぎ志度のつどいパートVI ●
桐島洋子講演会 14:00~
- 12/26 「ゴジラ2000ミレニアム」上映会 ●
10:00~・12:30~・14:30~
- 2/20 香川ジュニアオーラスフェスティバル2000 14:00~ ■

牟礼町石の民俗資料館 ☎(087)845-8484

- 12/12 野田純子 冬の日の心暖まるコンサート★
エントランスホール 14:00~・19:00~
- 12/18~1/23 「日本の時代風俗衣装展」 ●
特別展示室 9:00~
- 1/1~23 雅・華・侘の三重奏 一古典へのいざない ■
エントランスホール 9:00~
- 2/19~3/3 ひなまつりロビー展 9:00~ ■
- 3/2~5 パッチワーク・キルト展 ■
特別展示室 9:00~

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

上記予定は変更する場合があります。

「晴友会」(財団友の会)の皆様へ ご入会更新時期変更のお知らせ

「晴友会」の皆様には、例年9月に会員登録の更新をお願いしてまいりましたが、この度、財団の事務手続上更新の時期を4月に変更させて頂くことになりました。平成10年9月に更新、またはご入会頂きました会員の皆様は、平成12年3月末日まで半年間について期間の延長をさせて頂いております。

平成12年4月の更新手続きにつきましては、改めてご案内させていただきますので次回もご更新頂きますようお願い申し上げます。また、新規のご入会は随時受け付けておりますので、ご希望の方がありましたら、ご紹介下さい。

友の会の運営について、より楽しい会としていくためのご意見やご希望もお待ちしておりますので、何か面白そうな催しや企画、情報等ありましたら、事務局までお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

タンゴ in Tera

と き：1999年10月23日(土)
18:30~
と ころ：萩原寺客殿 (大野原町)
主 催：隅照会



日本を代表する タンゴ演奏者を 迎えて

京谷弘司 (バンドネオン)
河内敏昭 (タンゴ・ギター)
柚木秀子 (ボーカル)
解説 岡田 寛 (音楽評論家)

「タンゴの歌のほとんどが、ふられた男の未練たつぷりの女に対する哀歌。」

以前聞いた岡田寛氏の言葉を思い出し、「秋の夜」『お寺』タンゴ。どんなことになるのだろうか、と会場の萩原寺に向かった。門前のたいまつ灯りが、日常生活を遮断する。

会場の客殿は250名のお客さんでいっぱい。年令層も幅広い。そのほとんどが初めてタンゴの生演奏を聴くという。演奏者もお寺でのコンサートは生まれて初めての体験とのこと。開演間もなく、どのように反応しているのか、とまどっていた観のお客さん。第にその音色にひき込まれていく。フィナーレの「ラ・クンパルシータ」では誰からともなく思わず手拍子が。岡田氏も「ラ・クンパルシータ」で手拍子を体験したのは初めて!と会場をわかせた。

世紀末、世界的な不況の中、今アメリカやヨーロッパではアルゼンチン・タンゴの大流行が起こっているそうだ。日本ではまだまだ遅れをとっている様だが、ここ香川の西で、地球の裏側で生まれた庶民の音楽アルゼンチン・タンゴがまさにこぼれた秋の一夜であった。

主催者、これからの熱い思い

「隅照会」は、平成十年度中條財団助成金交付団体。また「ロッキング・ホースメングループ」は、あの観音寺出身の直木賞作家(91『青春デンデケデケデケ』で第105回直木賞受賞) 芦原すなお氏とともにバンドを組んでいた方達。(小説の登場人物達です。もちろん今も現役です) このお寺でのタンゴコンサートをした人達は「来年は、是非、芦原すなお氏の芝居を香川の地で上演したい」と熱く語ってくれた。

香川の西に文化の種が、まだまだ蒔き続けられそうだ。

1999年12月26日(日)
香川県民ホール グランドホール
17:30開場 18:00開演

2000年2月13日(日)
多度津町民会館
16:30開場 17:00開演

チケット
当日 2,000円
前売り 1,800円
ペア 3,000円

お問合わせ
劇場事務局 0879-42-3567

劇団プチミュージカル公演
SFミュージカル
PICO
ピコ

「エルゴ」はもうあなたの周りに
潜んでいるかもしれない!

編集後記

中国の国家主席が訪問先のマレーシアで『あと二十年もすれば日本という国は無くなり残すよ、良質な労働力としての日本人は残るでしょうが...』こんな言葉が伝えられると、わたしたち日本人として憤慨せずにおれません。このところの国内のショッキングな事件や出来事のニュースを見聞きしておりますと、その心配がないでもありません。

穏やかだろうと期待された卯年ですが、これでした。来年は、枝や葉を伸ばす『繁茂』の兆しのある辰年。この国が、永遠に続くことを新年に祈らずにおられません。どうぞ佳いお年をお迎え下さい。

「声・情報お寄せください」

編集部では、月釜等の財団の催しや「文化通心」に関するご感想・ご意見を求めています。FAXでけっこうですので気が付いたことをどしどし投書して下さい。巷でキャッチされた面白そうな催しや企画等についてもご一報下さい。めざせ!! 双方方向「通心」。

〒760-0017 高松市番町二丁目一十二
中條文化振興財団編集部
TEL(087)826-3355
FAX(087)826-2212